

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用		
	性・年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置		
1	女 10代	肺動脈高血圧症 (なし)	5ng/kg/min 36日間	顎痛, 鼻出血, 自己免疫性甲状腺機能亢進症		
			6ng/kg/min 26日間	投与15日目	顎痛発現。処置なし, 自制内で経過。	
			7ng/kg/min 28日間	投与100日目	鼻出血発現。2~3回/月程度鼻出血あり。処置なく経過。	
			14.6ng/kg/min 32日間	投与1年11ヵ月後	自己免疫性甲状腺機能亢進症発現。T ₃ 5.7ng/dL, T ₄ 2.5µg/dL, TSH0.01以下と異常。	
			9ng/kg/min 28日間	投与746日目	入院下でサイログロブリン抗体値5600以上, マイクロゾーム抗体25600以上で自己免疫性甲状腺機能亢進症と診断。チアマゾールを開始した。	
			10ng/kg/min 17日間	投与833日目	T ₃ 3.6ng/dL, T ₄ 1.4µg/dL, TSH7.31と改善した。	
			11ng/kg/min 39日間			
			12ng/kg/min 35日間			
			13ng/kg/min 45日間			
			15ng/kg/min 68日間			
			16ng/kg/min 投与期間不明			
			22ng/kg/min 投与期間不明			
			20.4ng/kg/min 投与期間不明			
			20.3ng/kg/min 投与期間不明			
臨床検査値						
				投与1年11ヵ月後	投与746日目	投与833日目
			T ₃ (ng/dL)	5.7	—	3.6
			T ₄ (µg/dL)	2.5	—	1.4
			TSH	0.01以下	—	7.31
			サイログロブリン抗体	—	5600以上	—
			マイクロゾーム抗体	—	25600以上	—
併用薬：フロセミド, スピロラクトン, ワルファリンカリウム, 塩化カリウム, 臭化水素酸デキストロメトルファン, 硫酸鉄, アスコルビン酸・パントテン酸カルシウム, グルコン酸カリウム, フルチカゾンプロピオン酸エステル, スルバクタムナトリウム・アンピシリンナトリウム, メロペネム水和物, ウルソデオキシコール酸, アンブロキシソール塩酸塩, チアマゾール						